



がん相談支援センターだより



就労支援プログラム「ワーキングサポート」をWEB開催します



がんの治療は長期間に及ぶため、経済的にも精神的にも生活の豊かさを考えるうえで、治療と仕事を両立していくことは考えずにはいられない問題のひとつです。

日大板橋病院では、そのような患者さんとともに、治療と仕事の両立を一緒に考えていくプログラムとして、年に4回就労支援プログラム「ワーキングサポート」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一昨年度と昨年度は開催出来ずにいました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見られない状況の中、WEBを用いての開催の検討をしてきた結果、9月13日（火）と20日（火）の2日間を使って開催することになりました。両日ともに18時から開始で1時間程度を見込んでいます。

日大板橋病院ホームページ、病院内のポスターや、下記二次元コードからもお申込みいただけますので、ぜひご参加ください。

参加用の二次元コードはこちら



2022年度
がんの治療や療養をしながら働くことについて、一緒に考えてみませんか？
参加費無料
事前申込み制

WEBワーキング・サポート

～がんになっても働き続けるために～

休職 復職 再就職

【開催日時】1コース全2回。途中からでもご参加いただけます。

【日程】	1回目	2回目
9月7日	13（火）	20（火）
18:00～19:00		

【開催】WEB開催：ZOOM
病院ホームページ又は院内ポスター、配布物に掲載の二次元コードからお申込みください。

後期高齢者医療制度（75歳以上の方等）の窓口負担が変わります

2022年（令和4年）10月1日から、一定以上の所得のある方（（1）同じ世帯の被保険者の中に住民税課税所得が28万円以上の方がいる（2）同じ世帯の被保険者の「年金収入」＋「その他の合計所得金額」の合計額が、被保険者が世帯に1人の場合は200万円以上、世帯に2人以上の場合は合計320万円以上である。のどちらにも該当する方）は、現役並み所得者（窓口負担割合3割）を除き、**医療費の窓口負担割合が2割**になります。現役並み所得者（3割負担）の条件は変わりません。

窓口負担割合が2割となる方には負担を抑える配慮措置があります。外来化学療法中の方等、長期頻回受診患者への配慮措置として、2割負担への変更により影響が大きい外来患者について、施行後3年間、1割負担の場合と比べた時の1ヶ月分の負担増を、最大でも3,000円に収まるような措置の導入があります。**医療費の自己負担上限額は外来/18,000円、入院/57,000円に変更ありません。**詳細はがん相談支援センター又は医療福祉相談室、お住まいの後期高齢者医療の窓口までお問い合わせください。

令和4年9月30日まで	
区分	自己負担割合
現役並み所得者	3割
一般所得者等	1割



令和4年10月1日から	
区分	自己負担割合
現役並み所得者	3割
一定以上所得のある方	2割
一般所得者等	1割

7/1よりWEBがん患者セミナー「抗がん薬の副作用」を公開中です！

抗がん薬の副作用について、がん指導/専門薬剤師がとても分かり易く説明しています。副作用について不安を抱える患者さんやそのご家族のお役に立てればと思いますので、病院ホームページ「公開講座」、右の二次元コードから是非一度ご視聴ください。



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 電話3972-0011（直通）3972-8111（代表）内線3169

相談対応時間 8:30～12:00, 13:00～16:00 予約受付時間 8:30～16:30

掲載記事に関してのご質問等がありましたら、がん相談支援センターまでお問い合わせください。